



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

2017 年度部会各賞受賞者のご紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、毎年度、Lectureship Award (LA), 科学奨励賞, 技術奨励賞の各賞を顕著な業績を挙げた方々に授与しています。本年度の受賞者をご紹介します。

Lectureship Award

LA は、「当該分野で著しい活躍をされておられる、あるいは将来この分野での活躍が期待できる著名な研究者」に対する国際賞です。本年度は、Piero Baglioni 教授 (University of Florence, Italy) と Junbai Li 教授 (中国科学院, 中華人民共和国) のお二人が選ばれました。



Piero Baglioni 教授



Junbai Li 教授

Baglioni 教授は、フィレンツェ大学の Chemistry の Director を務めておられ、産業応用を見据えた界面活性剤、洗浄技術を開発されたオピニオンリーダーの一人です。散乱法を中心としたミセルの構造解析から出発し、マイクロエマルションやヒドロゲルを用いた新しい洗浄技術の開発へと結び付け、さらにこれを文化財修復へと応用した独創的な業績が高く評価されました。Li 教授は、中国でのコロイド界面化学の中心的役割を果たしている気鋭の研究者です。生体物質を含んだ界面分子集合体の作成・機能、いわゆる生体模倣化学の分野で世界的な業績を挙げられています。脂質膜表面でのフォス

フォリパーゼの作用機構の解明や分子集合体を用いた選択輸送、ドラッグデリバリーに関する研究は、そのオリジナリティーが高く評価されています。

科学奨励賞

科学奨励賞は、コロイド・界面化学分野で新しい科学を作った、または作りつつある 40 歳未満の、大学や研究所などアカデミアに属する研究者へ贈られるものです。受賞者は、山本拓矢氏 (北海道大学・准教授) と中西和嘉氏 (物質・材料研究機構・主任研究員) のお二人です。



山本 拓矢 氏



中西 和嘉 氏

山本氏の受賞研究は、「環状高分子を利用した新奇機能性ソフトマテリアルの開発」です。山本氏は、リング状の両親媒性ブロックポリマーの新規合成法の開発から、その基礎物性と自己組織化、特にミセル形成挙動とその構造解析、そしてミセルの特性解析に関する一貫した系統的研究を独自に遂行されました。好熱菌にヒントを得たこれらトポロジー効果というコンセプトを創出した独創的な研究が高く評価されました。中西氏は、有機合成の技術に基づき反応開発を進め、さらに近年、これに界面化学的手法を取り入れることにより、界面という低次元場に分子集合体に立脚した分子機械を構築した業績が高く評価されました。育児と研究を両立して、50 報以上の論文を報告するなど、女性研究者のロールモデル

であることも評価されました。

技術奨励賞

技術奨励賞は、コロイド・界面化学分野で、新しい技術あるいは技術の芽を作った、または作りつつある、会社に所属する 45 歳未満の研究者・技術者へ授与されるものです。受賞者は、小倉卓氏 (ライオン株式会社 研究開発本部・副主任研究員) です。受賞研究は、「界面活性剤が形成する分子集合体の溶液構造解析による高機能性複合材料の創製」で、留学で学んだ散乱法の知識と技術を駆使した研究で多くの論文を発表したこと、そして高い洗浄力の発現機構の解明など、研究成果を商品開発へと結び付けた業績が高く評価されました。



小倉 卓 氏

おわりに

来月神戸で行われる部会の討論会にて、各賞の受賞式と受賞講演が行われます。LA は、部会の国際化にも大きく寄与し、また奨励賞は、若手の方によるコロイドおよび界面化学のますますの発展を期するものであるとともに、部会活動のますますの活発化を期待するものでもあります。

募集要項および歴代受賞者は、

<http://colloid.csj.jp/awards/>

に掲載されています。ご参照下さい。

[2016 年度賞選考委員長 松岡秀樹
(京都大学工学研究科)]

© 2017 The Chemical Society of Japan